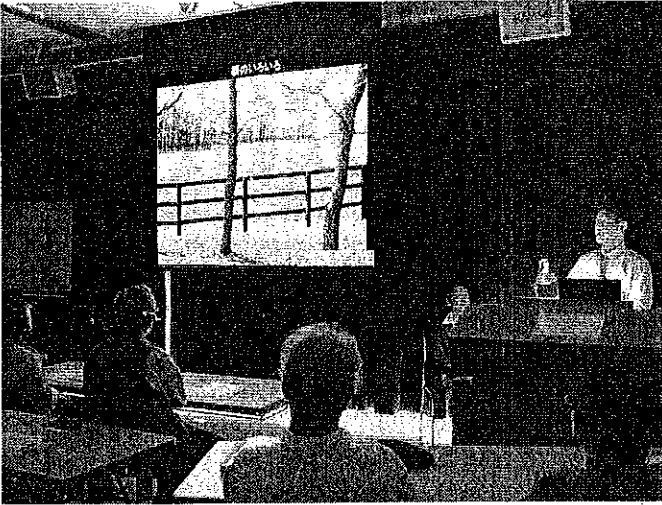


絵本の中の家 建築士が解説

絵本に描かれた住まいや文化を1級建築士が読み解く、「絵本探検ツアー」と銘打ったユニークな講座が、札幌で静かな人気を集めている。参加者からは「何げなく読むと見過ごしてしまう物語の背景を知ることができる」と好評だ。

(西田美樹)

札幌でユニーク講座



絵本に出てくる建築物などについて資料を基に解説する小沢代表(右奥)

壁の色や屋根の意味 写真交え紹介

1級建築士事務所オザワプランニング(札幌)が3年前から開いている。小沢典仁代表が欧米や日本の絵本に登場する建築物などについて、写真や文庫を交えて解説。妻の由美子さんが絵本を朗読する。現在、10作のレパートリーがある。

由美子さんが絵本の読み聞かせ活動をしていたところ、典仁さんが絵本の中に登場する建築物などに着目したのがきっかけだった。

13日、札幌市内で開かれた講座には、定員を越す三千数人の大人が参加した。この日取り上げたのは「ペレのあたらしいふく」(福音館書店)。「ねえ、どれがいい?」(評論社)の2冊。

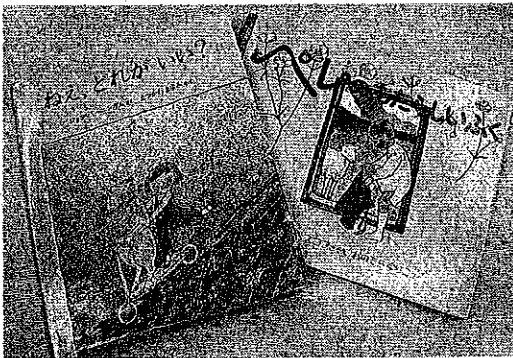
そのうち「ペレの...」は、スウェーデンに住む男の子ペレが、飼っている羊の毛を刈り、周りの大人に頼んで労働と引き換えに服を作

「物語の背景わかる」

つてもらう話だ。

小沢代表は、絵本に出てくる①赤い色のスウェーデンハウス②芝を張った屋根③木を斜めに並べた柵―に注目、それらの意味について話した。①はスウェーデンの銅山で副産物として赤色の塗料が生産されていたこと、②は芝が断熱材の土を固定する役割を担うことを説明。③は木材をツタなどで結わえれば簡単にできるため「ペレ」のような子供でも作ることができたのである」と推測した。

約1時間半の話聞いた参加者からは「想像が膨らんで面白い」との声が聞かれた。小沢代表は「絵本に描かれた生活の背景には、



講座で取り上げた絵本。その土地の暮らしを読み解く

作者の大切なメッセージが込められている。現在の生活を見つめ直すヒントになるかもしれない」と話した。

今後は11月1日、12月13日、来年2月14日のそれぞれ午後1時半から、同市北区北9西2、パナソニックリビングショールームで開く。

無料。問い合わせはオザワプランニング ☎011・613・2023へ。